

新幹線延伸を契機とした広域連携推進事業

北安曇地方事務所
長野地方事務所
北信地方事務所

1 課題

- (1) JR長野駅を玄関口に、北安曇地域（大町・白馬）、北信地域（飯山・志賀高原）に向けた観光客の流れがあるが、その流れに対応した広域間の連携が不足している。
- (2) 善光寺御開帳の集客力（H21 673 万人）を地域経済の活性化に活かしきれていない。

※善光寺御開帳参拝者アンケート結果（平成 21 年）

○善光寺御開帳の観光客（前回 673 万人）の日帰り化

- ・日帰り客の増加 H15 48.8% ⇒ H21 61.0%（+12.2%）
- ・滞在時間が短い 3 時間未満 66.6%

○宿泊者のうち、6 人に 1 人（15.9%）が県外に宿泊

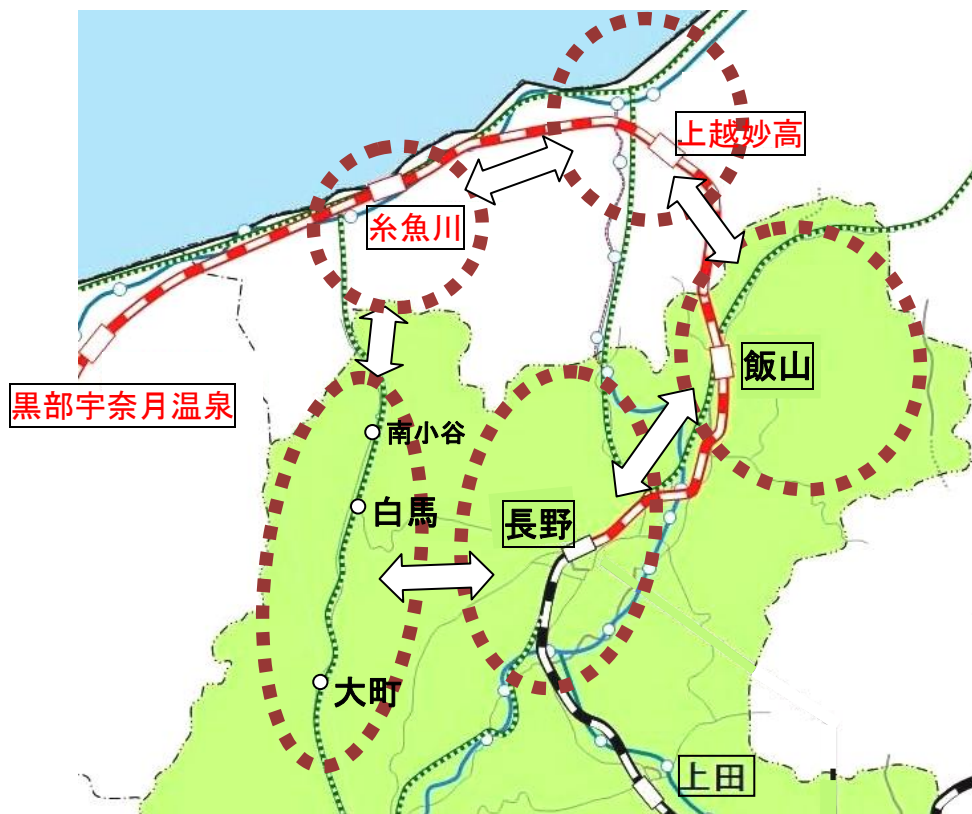
2 3 所連携会議における取組内容

平成 27 年春の新幹線延伸及び善光寺御開帳を契機に地域活性化を推進するため、北安曇、長野、北信の三地方事務所では、平成 25 年 5 月、3 所の関係課に加え観光部の協力のもと、連携会議を設け事業を検討し、市町村とも連携して 25 年度から事業着手した。

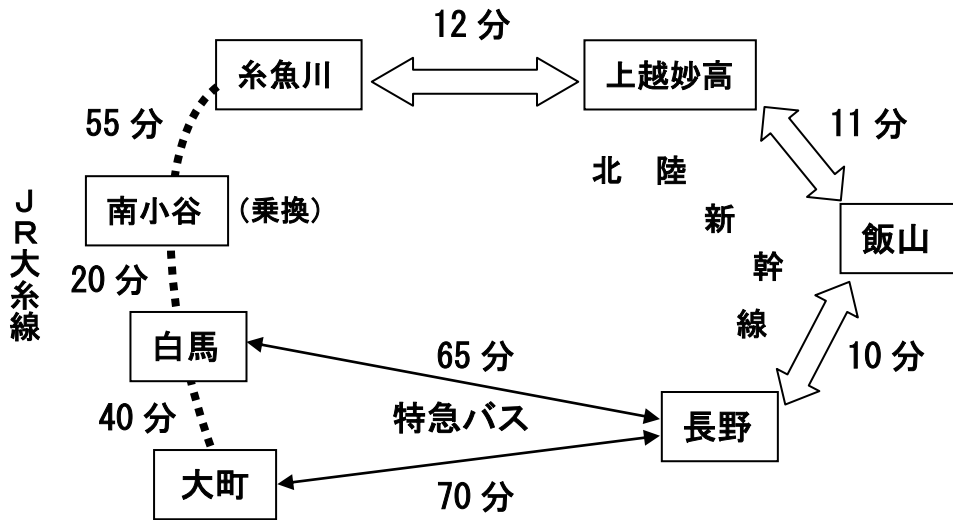
平成 26 年度には、上越・糸魚川とも連携を取り、広域的なPRを実施する。

※3 所連携会議（平成 25 年 5 月～）

構成員：北安曇、長野、北信の各地方事務所 地域政策課・農政課・商工観光課、観光部観光振興課の関係職員



<各駅間の所要時間（公共交通機関を使用した場合）>



(1) 道の駅の連携による観光PR、物産販売（ゼロ予算事業）(H25～)

- 3所管内の道の駅（全15駅）と「道の駅あらい」（妙高市）が参加
- 道の駅フェアの開催
 - ・ 3所合同フェア（県庁特別食堂でH25.10～11月に3回開催予定）
 - ・ 16駅合同フェア（道の駅又は飯山新駅などで開催（日程未定））
- 16駅の案内マップの作成（H25 実施）
 - ・ 手書きの案内マップを作成し、各駅で共通使用
 - 道の駅をPRするコメント、食堂メニュー、特産品などを掲載
- アンケート調査、道の駅現場責任者による意見交換会の実施 など

<参加している道の駅>（全16駅）

地方事務所	施設名
北安曇	小谷（小谷村）、白馬（白馬村）、安曇野松川（松川村）、池田（池田町）、ぽかぽかランド美麻（大町市）
長野	中条、信州新町、大岡特産センター（以上長野市）、しなの（信濃町）、オアシスおぶせ（小布施町）、おがわ（小川村）
北信	信越さかえ（栄村）、ふるさと豊田（中野市）、北信州やまのうち（山ノ内町）、花の駅千曲川（飯山市）
（新潟県）	あらい（妙高市）

(2) 広域観光PRの実施【事業費：18,000千円】

新幹線延伸により近接性の高まる上越・糸魚川地域と北安曇・長野・北信地域を周遊する観光ルートへの認知度を高めるため、善光寺御開帳全国キャラバンと連携して集中的な観光PRを行うとともに、首都圏・北陸地域等の物産展等でPRを実施する。

ア 広域観光マップ等の作成

長野県北部（大北、長野、北信）から上越・糸魚川地域をエリアとする魅力ある観光マップを作成する。

①出発地向けPR用マップ（主に県外で配布）

地域の魅力と新幹線による地域のつながりや一体感をイメージ訴求し、来訪と周遊を促す。

②到着地向けPR用マップ（主に現地宿泊施設等で配布）

旅行者が現地で利用できる周辺情報・周遊プラン等の情報を掲載し、来訪した旅行者の利便性の向上と周遊促進を図る。

【事業費】 17,000千円

- | | |
|----------------------|---------|
| ①出発地向けPRマップ（20万部） | 8,000千円 |
| ②到着地向け実用マップ（3万部×3地域） | 9,000千円 |

イ 善光寺御開帳全国キャラバンと連携した観光PR

善光寺御開帳奉賛会が平成26年秋に行う全国キャラバンと連携して観光PRを実施する。

※善光寺御開帳奉賛会（事務局：長野商工会議所）

善光寺御開帳を奉賛し、成功を期すため、全国へ向けての宣伝・誘客活動を始め、観光・商業・交通規制などの諸問題に対応するため、長野商工会議所が主体となって設立。（今回は、11月下旬設立予定）

ウ 物産展等による観光PR、物産販売（H25～）

首都圏・北陸地域などで開催される物産展等を活用して観光PR、物産販売を行う。

25年度は、富山市「全国秋の物産展 in グランドプラザ」（H25.9/28～29）へ3所の総合調整推進費を活用して共同出展

- りんご、そば、おやき等物産の販売
- 各市町村観光パンフレット等の配布

【事業費】 1,000千円（物産展出展経費）

(3) 山岳リゾート形成に向けた取組の検討

「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり研究会」の検討状況を見ながら、長野駅・飯山駅を玄関口とした広域連携の取組を検討

○滞在型観光地モデル地域候補：「大町市・白馬村・小谷村」

(8/26 研究会で推薦)

「信越9市町村広域観光連携会議エリア」

3 スケジュール

年度	25 年度	26 年度	27 年度	
取組内容	①道の駅 <10～11月> 3所合同フェア開催 案内マップ作成 道の駅現場責任者による意見交換会	<時期未定> 16 駅合同フェア開催 アンケート調査 PR <随時開催>	<3月> 新幹線金沢延伸	<4/5～5/31> 善光寺御開帳
	②広域観光PR <秋～> ○関係機関、上越・糸魚川地域との調整 ○広域観光ルートの検討、策定 富山市 「全国秋の物産展 in グランドプラザ」 (H25.9/28～29)	<春～夏> パンフレット作成 <秋> 善光寺御開帳 全国キャラバン PR <夏～> ・物産展への出展 ・道の駅でのPR		
	③山岳リゾート 「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり研究会」(H25 観光部)	3所連携した取組の検討		